

## 河川の洪水浸水想定区域の設定について

|      |  |
|------|--|
| 提案内容 | <p>洪水浸水想定区域が斐伊川、赤川、三刀屋川、久野川が氾濫した場合の浸水区域が想定されていますが、他の河川については洪水浸水想定区域がありません。この河川に流れる支流の河川があります。この支流河川（請川、中村川、三谷川）の住民はこの河川の氾濫が起きるかどうかにより避難をするかどうかの対応が迫られる場合もあります。</p> <p>雲南市の考えでは本河川の浸水想定区域により浸水区域が設定されていますが現状に於いては本河川より支流の河川断面が狭く本河川の氾濫浸水の前に支流に於いて氾濫浸水が起きると考えられます。</p> <p>つきましては、支流において浸水氾濫がおきないかを支流ごとに本川と同じ諸元で調査し安全を確認する必要があります。これを怠ると人命に関わる災害が発生すると思います。十分な調査を行いその結果を市民に公表し、「安全、安心、豊か（快適）に暮らせる都市づくり」を目指すことをお願いします。</p>   |
| 回 答  | <p>ご提言、ありがとうございます。</p> <p>洪水浸水想定区域は、水防法第14条に基づき洪水予報河川及び水位周知河川を対象に作成されており、現在雲南市内では斐伊川、赤川、三刀屋川、久野川が該当しております。</p> <p>ご提案の中村川（加茂町）、請川（木次町）、三谷川（三刀屋町）についてはいずれも島根県管理河川のため、提案内容を島根県に確認いたしました。現在島根県では、県が管理する全ての河川について浸水想定区域図を作成するための作業を進めており、早ければ令和6年度内の公表を目指しているとのことでした。市としても、公表されたのちは速やかにハザードマップの更新（修正）を行い市民の皆様に周知を図る考えです。</p> <p>なお、昨今の降雨状況では中小河川どこでも短期間で水位上昇する心配があります。公表されるのは早くても令和6年度内とされています。市におきまして豪雨時のそれぞれの河川の状況を細かく把握するのは困難ですので、地元におかれましても出水期の増水に備え、自治会等で過去の経験を踏まえた話し合いをしたり、降雨時は水位の状況や天気予報など防災情報の収集に努め、早めの避難につながるよう災害に対する感度を高めていただくようご協力をお願いします。（回答部署：防災部防災安全課）</p> |